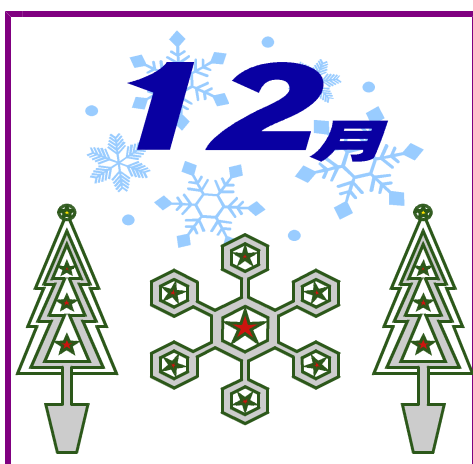


# めぐみイエス・キリスト教会

2024年12月15日(日)アドベント第三主日礼拝  
午前10時より  
週報「通算第736号」



## 2024年標題聖句

### マタイの福音書第6章33節

《まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて、それに加えて与えられます。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実  
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

## ◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌82「牧人 羊を」 p. 112

【交読文】 No.49 イザヤ書40章(抜粋) p. 918

【賛美Ⅱ】 新聖歌99「馬槽の中に」 p. 139

【使徒信条】

【主の祈り】

【前回説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナル曲「天より来られし」

【聖書朗読】 ルカの福音書8章1節～3節(新約p. 126下段)

【礼拝説教】 《主イエスに仕えていた女性たち》

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌166「威光・尊厳・栄与」 p. 236

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

### ※本日の聖書箇所(ルカの福音書8章1節～3節)

8:1 その後、イエスは町や村を巡って神の国を説き、福音を宣べ伝えられた。十二人もお供をした。

8:2 また、悪霊や病気を治してもらった女たち、すなわち、七つの悪霊を追い出してもらったマグダラの女と呼ばれるマリア、

8:3 ヘロデの執事クーザの妻ヨハンナ、スザンナ、そのほか多くの女たちも一緒であった。彼女たちは、自分の財産をもって彼らに仕えていた。

## ●ポイント1. マグダラのマリアとヨハンナについて

### ※ルカの福音書24章1節～11節「復活の日の朝に」 (新約p.172)

24:1 週の初めの日の明け方早く、彼女たちは準備しておいた香料を持って墓に来た。

24:2 見ると、石が墓からわきに転がされていた。

24:3 そこで中に入ると、主イエスのからだは見当たらなかった。

24:4 そのため途方に暮れていると、見よ、まばゆいばかりの衣を着た人が二人、近くに来た。

24:5 彼女たちは恐ろしくなって、地面に顔を伏せた。すると、その人たちはこう言った。「あなたがたは、どうして生きている方を死人の中に捜すのですか。

24:6 ここにはおられません。よみがえられたのです。まだガリラヤにおられたころ、主がお話しになったことを思い出さない。

24:7 人の子は必ず罪人たちの手に引き渡され、十字架につけられ、三日目によみがえると言われたでしょう。」

24:8 彼女たちはイエスの言葉を思い出した。

24:9 そして墓から戻って、十一人とほかの人たち全員に、これらのことをすべて報告した。

24:10 それは、マグダラのマリア、ヨハンナ、ヤコブの母マリア、そして彼女たちとともにいた、ほかの女たちであった。彼女たちはこれらのことを使徒たちに話したが、

24:11 この話はたわごとのように思えたので、使徒たちは彼女たちを信じなかった。

## ●ポイント2. ヘロデ・アンティパスの宮殿内において

### ※使徒の働き13章1節「バルナバが建てた教会」 (新約p.259)

13:1 さて、アンティオキアには、そこにある教会に、バルナバ、ニゲルと呼ばれるシメオン、クレネ人ルキオ、領主ヘロデの乳兄弟マナエン、サウロなどの預言者や教師がいた。

## ◎先週のメッセージ【罪赦されることとは？】

《「ある金貸しから、二人の人が金を借りていた。一人は五百デナリ、もう一人は五十デナリ。彼らは返すことができなかったなので、金貸しは二人共借金を帳消しにしてやった。それでは、二人のうちのどちらが、金貸しをより多く愛するようになるでしょうか」シモンが答えます。

「より多くを帳消しにしてもらったほうだと思います」

「あなたの判断は正しい。」この後、主は解き明かしを話されます。

「私があなたの家に来たとき、あなたは足を洗う水をくれなかったが、彼女は涙で私の足をぬらし自分の髪の毛でぬぐってくれました。あなたは口づけしてくれなかったが、彼女は私の足に口づけしてやめませんでした。あなたは私の頭にオリーブ油を塗ってくれなかったが、彼女は、私の足に香油を塗ってくれました。ですから、私はあなたに言います。この人は多くの罪を赦されています。彼女は多く愛したのですから。赦されることの少ない者は、愛することも少ないのです。」

さて、私たちは、どちらの立場なのでしょう。この罪深い女と同じく、心から主に感謝を捧げる者でしょうか。それとも、シモンのように、赦されることの少ない者であり、愛することの少ない者なのでしょう。この時、彼には分かったはず。自分が後者であることを。

「罪赦されること」とは、まず自分が罪人であることを、真に認識しなければ分からないことです。多くの人々は、シモンのように、自分は、それほど罪を犯していないという自負があるのです。しかし、パウロは言いました。「私は罪人の頭」だと。罪を自覚しなければ、主イエス様の十字架も分からないのです。そして、十字架の素晴らしさもです。「あなたの罪は赦されています。あなたの信仰があなたを救ったのです。安心して行きなさい」この言葉こそ、私たちにも語られている「主の言葉」です。私たちには、真の平安が与えられています。》

## ◎お知らせ

※12月22日のクリスマス礼拝は午前10時から予定通りです。12月29日は感謝礼拝。2025年1月5日は新年礼拝を予定しております。